

2016年11月吉日

報道関係各位

シンジェンタジャパン株式会社

新規殺虫剤「ミネクト®デュオ粒剤」 2017年初頭より 販売開始

シンジェンタジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 篠原聡明）は、2016年3月16日に農薬登録を取得した新規殺虫剤「ミネクト®デュオ粒剤」（農林水産省登録 第23783号）の販売を2017年初頭より開始します。

「ミネクト®デュオ粒剤」は、ジアミド系の新規殺虫成分シアントラニリプロール（IRACグループ：28）と、ネオニコチノイド系殺虫成分チアメトキサム（IRACグループ：4A）を組み合わせた、野菜用殺虫剤です。

スペクトラムが異なり、吸収移行性に優れた2成分を組み合わせることで、果菜類・葉菜類の栽培初期において問題となる幅広い主要害虫を、1剤でカバーすることが可能になりました。

同時に、果菜類は鉢上げ時、葉菜類は播種覆土後から使用できる安全性と、育苗期はもちろん、定植後数週間にわたって続く長期残効性の両立を実現しました。

<ミネクト®デュオ粒剤の特長>

- 幅広い殺虫活性：チョウ目、コナジラミ、アザミウマ、アブラムシ、ハモグリバエといった主要害虫をもれなくカバーできます。
- 残効性：果菜の鉢上げ時・葉菜のは種覆土後の処理で、育苗期はもちろん、果菜は定植後約3週間、葉菜は定植後3～4週間にわたり効果が持続します。
- 省力性：果菜類の鉢上げ・葉菜類のは種覆土作業に合わせて処理できるので、定植前後に忙しい生産者様の労力軽減が図れます。

発売初年度は、果菜類（トマト・キュウリ・ナス・ピーマン）、葉菜類（キャベツ・ハクサイ・レタス・ブロッコリー）において普及活動を行い、全国的な販売を視野に幅広い推進活動を行って参ります。

「ミネクト®デュオ粒剤」は、その幅広い殺虫活性と長期残効性を活かした、野菜育苗における労力軽減の新提案を通じて、生産者の皆様の高品質な野菜づくりに貢献できるものと確信しております。

販売会社：シンジェンタジャパン（株）（商系、系統）

販売開始時期：2017年初頭を予定

販売規格：3kg x 6袋

シンジェンタのミネクト製品シリーズは、幅広い殺虫活性と、長期にわたる残効性が特徴です。水稻、野菜の生産者様の防除ニーズに応え、補完し合うベストな2成分を最適化。生産者様の労力や手間、時間の軽減を図り、栽培作物の収量や品質の向上により注力できるよう、サポートしてまいります。

私たちシンジェンタの革新的な技術を、生産現場の便益に繋げたい。大きな転換期にある日本の農業において、シンジェンタは、生産者様の課題解決を図る新製品の開発に、今後も注力し続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

シンジェンタジャパン株式会社

マーケティング部

柳田 優一

TEL：03-6221-3845

MAIL: campaign.jp@syngenta.com

添付資料 1：適用害虫の範囲および使用方法

添付資料 2：製品写真

®はシンジェンタ社の登録商標

シンジェンタについて

シンジェンタは、“植物のちからを暮らしのなかに“を企業目的として世界90カ国以上で事業を展開し、2万8,000人超の社員を擁する世界のリーディングカンパニーの一つです。ワールドクラスの科学、グローバルな事業活動とお客様へコミットメントを通じて、作物の生産性向上、環境の保護および健康と生活の質の向上をサポートしています。さらに詳しい情報は、インターネット www.syngenta.com（英語）または、www.syngenta.co.jp（日本語）をご覧ください。

将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、「見込まれています」、「でしょう」、「の予定です」、「潜在的な」、「計画」、「展望」、「推定」、「目的」、「目標」またはその他これに類似した表現により特定されます。そのような将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実要素により影響を受けるため、実際の結果と異なる可能性があります。そのようなまたはその他のリスクと不確実性については、シンジェンタが米国証券取引審議会に提出した入手可能な書類をご参照ください。シンジェンタは、実績、前提条件の変化などの要因を反映するための将来の見通しに関するいかなる記述もそれを更新する義務を一切負わないものとします。本リリースの全体または一部は、シンジェンタ AG の普通株またはシンジェンタ ADS の売却もしくは発行を申し出るか、勧誘するものではなく、それらの購入または申込の申し出を勧誘するものでもありません。また、それらの目的のために締結される契約に関してその根拠または拠り所となるものではありません。

添付資料 1 : 適用害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	チアメトキサムを含む総使用回数				
キャベツ	アオムシ	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)当り40g	は種覆土後～ 育苗期後半	1回	散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)				
	アブラムシ類										
	コナガ										
	ハイマダラノメイガ										
	アオムシ	1g/株	定植時		株元散布						
	アブラムシ類										
	コナガ										
	ハイマダラノメイガ										
はくさい	アブラムシ類	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)当り40g	は種覆土後～ 育苗期後半	1回	散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)				
	アオムシ		育苗期後半								
	コナガ	1g/株	定植時		株元散布						
ブロッコリー	アブラムシ類		は種覆土後～ 育苗期後半	1回	散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)				
	コナガ										
	アオムシ	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)当り40g	育苗期後半								
	ハイマダラノメイガ										
レタス	アブラムシ類				育苗期後半			1回	散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)
	オオタバコガ										
	ナモグリバエ										

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農業の総使用回数	チアメトキサムを含む総使用回数		
レタス	ネキリムシ類	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)当り40g	育苗期後半	1回	散布	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)	3回以内(種子への処理、水和剤の灌注及び粒剤の処理は合計1回以内、定植後の散布は2回以内)		
きゅうり	アブラムシ類	1g/株	鉢上げ時~育苗期後半		株元散布		1回	4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)	
	コナジラミ類								
	トマトハモグリバエ								
なす	アブラムシ類	2g/株			鉢上げ時~育苗期後半	株元散布	1回		4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
	コナジラミ類								
	ハモグリバエ類								
	ミナミキイロアザミウマ								
トマト	アブラムシ類	2g/株			鉢上げ時~育苗期後半	株元散布	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)		4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
	コナジラミ類								
	ハモグリバエ類								
ピーマン	アザミウマ類	2g/株	鉢上げ時~育苗期後半	株元散布	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)	4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)			
	アブラムシ類								

※最新の適用情報、使用上の注意事項など、詳しくはウェブサイトをご確認ください。
<http://www.syngenta.co.jp/cp/items/minectduog/apply/>

添付資料2：製品写真

